



葉っぱー通信

2020.6
Vol.26

葉とらずりんご「葉っぱー」は生協しまねオリジナル商品で、
生産者と組合員と一緒に育て、普及するりんごです。

産直りんごの産地

青森市 浪岡 津軽産直組合

津軽産直組合



台風被害を乗り越えて～満開のりんごの花畑!!

昨年の台風19号の被害を乗り越え、りんごの木は新しい花を咲かせました。真っ白な花は、5月7日(木)から咲きはじめ10日(日)頃に満開になりました。例年より3日～5日早い開花です。

開花時は好天に恵まれ、受粉作業がすすみました。私たちが栽培した「葉っぱー」を今シーズンもよろしくお願いします。



斉藤信一さん、茂子さん



宮崎尚彦さん



小林徹哉さん



斉藤康児さん



マメコバチと生産者による受粉の様子

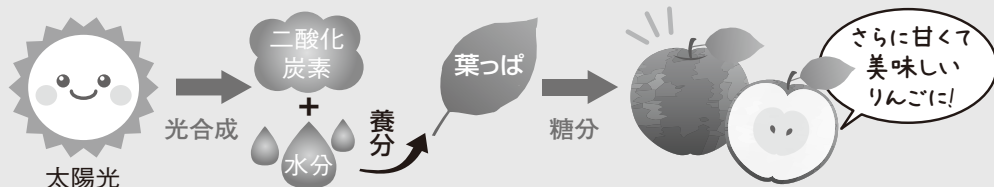


「葉っぱー」は、葉を取らずに栽培した「サンふじりんご」です。

一般的な「サンふじりんご」は、りんごの周りの葉を摘み取り、りんごに日光を当て栽培しますが、葉とらずりんごは「葉っぱ」の「ちから(光合成)」によって通常のサンふじよりも糖度が高く蜜入りも良くなる傾向にあります。

光合成によってつくられたデンプンは、果実にたくわえられ、りんごの糖分を高めま。葉の枚数が多いほど光合成が盛んにおこなわれ、たくわえられるデンプンの量が増します。

葉とらずりんご「葉っぱー」の美味しさのしくみ



メッセージ



台風などの自然災害は生産者さんにとっては本当に避けることのできない不運なことです。少々キズがあらうと形が悪かろうと葉とらずりんごにかわりはないと思っています。こんな時こそお互いに助け合おうが生協の良いところ。どうかこれから真心こめておいしいりんご届けてくださいますように。
隠岐の島ST 古木博子

昨年の10月の台風19号により、青森県内は突風が吹き荒れ、出荷前のたくさんのりんごが落下したり、実が枝に当たりキズ果が大量に発生しました。
台風被害に遭った生産者を支えたのは、わけあり品のりんごをたくさん利用していただいた組合員さんの支援と再建を願う励ましのメッセージでした。

台風19号でりんごの落下、スレ、キズなどのニュースをみて、生産者さんが苦労して作った収穫直前のりんごが被害に遭ったことを思うと本当に胸が痛くなりました。私はボランティアに行けないけど、りんごを購入することで協力したいと思い今回も予約しました。蜜が入っていておいしかったです。
益田支所 組合員さん

産地だより

私たちは青森県でりんごを栽培しています。しかしながら、それらの果樹をつくりあげるのは、実は生産者でないということです。

おいしいりんごを育てるのは、「木」と「葉」、そして「土」なのです。木と葉はそれぞれ太陽・水・土・肥料・菌など、自然の力を利用しておいしい果実をつくりま。私たちがふだん行っている「栽培」は、そんな働き者の木と葉のお手伝いをし、自然のエネルギーを100%りんごに届けることです。現在は開花も終わり日々りんごの形に成長しています。この間の低温による病気の発生に警戒しながら木を見守っています。



新型コロナウイルス感染症の不安が世界中に広がっています。園地に出て仕事ができる事に感謝し、収穫を無事迎えて少しでも私たちが栽培したりんごを美味しいと笑顔になってもらえるよう頑張ります。

津軽産直組合 組合長 斉藤篤寿

葉とらずりんご「葉っぱー」は、10月にご注文(予約)方法についてお知らせします。

～商品のお届けは、11月下旬からはじまります(予定)～